

わたしたちの暮らしと雨水との関係

雨水浸透・貯留による水循環の再生



降った雨は、蒸発または地中へ浸透し、浸透しきれない雨水は、河川へ流れ込みます。地中に浸透した雨水は植物による蒸発散により、大気へ戻り、残りは河川へ流れます。

雨水を浸透ますによって、できるだけ地中にしみ込ませたり、貯留槽によって溜めたりすることにより、一層健全な水循環の回復を促すことができます。

浸水被害を防ぐために

昔は、田畑が多く家も少なかったので、降った雨は地下にしみ込んでいました。現在では、家が建ち並び、道路の整備も進み、住みやすい環境になりましたが、降った雨はほとんど下水道や河川へ流れてしまいます。

そのため、ゲリラ豪雨になると、いっきに下水道管や河川へ流れ込みます。そして、対応しきれないと、浸水被害が発生してしまいます。

雨水を貯めたり、地中へ浸透させることにより、浸水被害を防ぐことができます。



近年、全国的に大雨による住宅等の浸水被害が増えています。これからは河川や下水道の整備だけでなく、まち全体で雨水の浸透・貯留の取組を進めていくことが重要です。水と緑のまち 狛江市の自然環境を守るために、みなさまのご協力とご理解をお願いいたします。

雨水浸透ますとは

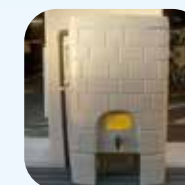
「ます」の側面に穴が空いている構造になっています。底部と周りに碎石が入り、碎石は透水シートで覆われた構造になっています。

それにより、雨水を穴の開いたますより地中へ浸透させます。設置工事については狛江市指定下水道工事店にご相談ください。指定下水道工事店のご案内は下水道課まで。

助成金制度があります
助成金制度のお問い合わせは
下水道課まで。



雨水貯留槽とは



雨水貯留槽は、屋根に降った雨を雨どいを通して貯水するものです。その雨水を草木への水やり等に活用することや、火災や震災などが発生して断水したときの非常用の水としても利用できます。

助成金制度があります
助成金制度のお問い合わせは
下水道課まで。

